



「マイペースパーティー」が生み出す共生社会 一般社団法人ギフテッド

2025年 草の根育成助成 活動報告

② 事業の目的

障害や特性のある若者が
地域の中で役割を持ち、主体的に
社会参加できる機会を創出する

また、関わる側も「支援する／され
る」を越え、共に関わる関係性を育
む場をつくる



③ 当初計画

- 月1回の「マイペースカフェ」定期開催
- 年1回以上の「マイペースパーティー」開催
- 広報強化による認知向上
- 連携団体の拡大

持続可能な運営体制の構築を目指した



④実施内容

- カフェ活動を
→「カフェ型ワークショップ」へ発展
- 若者が主体となり企画・運営
 - 接客・対話を通じた相互理解の創出
 - 地域イベントや文化祭へ出展
 - 外部でも自らのプログラムとして展開
- 「参加する場」から「担う場」へ変化



⑤ 実施結果

- 実施回数：15回
- 延べ参加人数：約600人
- 定期開催：9回
(外部出展の増加により変動)
- 地域内外で活動の機会を拡大



⑥ 未達となった点

- 定期開催の安定化には至らなかった
- 収益構造の確立ができなかった
- ホームページ制作・広告施策は未着手
- 当初想定した運営基盤の構築は未達

助成金は当初内定額662,000円に対し、確定額は206,000円となり、資金面及び人員面での制約が運営基盤構築に影響した

⑦ 要因分析

- 活動機会の拡大により、定期開催との両立が困難になった
- 来場者の増加に対し、運営人員・体制の整備が追いつかず、現場負荷が増大した
- 助成金申請時のホームページ制作見積もり額が、具体的な内容と釣り合わず、広報・基盤整備への投資が十分に行えなかった
- プレイヤーが学生及びその親達が主であることから、金銭面や、活動可能な時間に限りがあり、活動拡大に対する持続性に限界があった

⑧ 得られた成果

- リピーターの増加
- 来場者から運営に関わる「つなぎて」が誕生
- 主体的に関わる若者の増加
- 単発の参加から、継続的な関係性へ発展
- 「コミュニティ」が形成され始めた





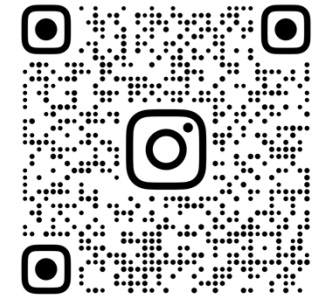
⑨ 活動の広がり

- 調布市・小金井市・府中市へ展開
- 文化祭・地域イベントへの出展
- 学校・地域団体との連携
- 北海道室蘭市への出店の定着
- 活動が点から面へ広がり、
地域との接点が増加

⑩ 助成事業以外の年間活動

- 北海道イベントへの自主出展
- 北海道でのマイペースカフェ運営メンバーの組織作り
- ポッドキャスト番組制作
- 講演＋実演WS 活動
- ボランティア学生との関係構築
- 他団体との協働 イベント企画運営

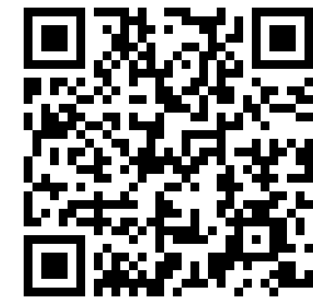
助成に依存しない活動基盤が形成されつつある



MY_PACE_CAFE



POD CAST



⑪ 今後の展開

- 企業・学校向け研修として展開
(講演＋カフェ実践)
- 都内23区内でのイベントに積極的出展
- キッチンカー取得
(クラウドファンディングに挑戦)
- 収益モデルの再構築
- 受け入れ人数や運営体制の見直し
- 企業協賛、協働のビジネスモデルの確立
- 持続可能な形へ移行し、活動を拡張する



まとめ

- 「マイペースパーティー」は若者が役割を持ち、自然に社会とつながる場として機能した
- 「支援する／される」を越えた関係性の中で参加者同士がつながり、コミュニティが形成された
- 活動の広がりにより、社会的ニーズの高さが明確になった
- 一方で、持続可能な運営体制の必要性が課題として顕在化

今後は、「共生の場」を一過性の取り組みではなく社会に根付く仕組みへと進化させてい

